

# AI・RPAを活用した改善事例紹介

-スマートプロジェクトの取り組みについて-

2023.12.22

DX推進室 山邊 亜希子

1

音声文字起こしAIによる議事録作成時間の省力化

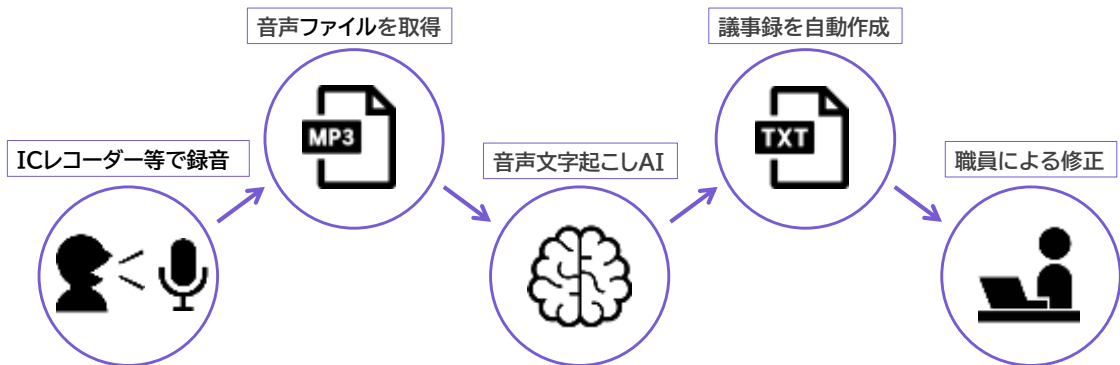
2

AI-OCRによる紙⇒データ入力の省力化

3

RPAによる単純作業の省力化

## 01 音声文字起こしAI



令和4年度は927件の会議にて利用され、1,742時間の業務効率化

【 R2→ 1,129時間(671会議) R3→ 1,788時間(925会議)】

3

## 01 認識精度を上げるマイクシステムを導入



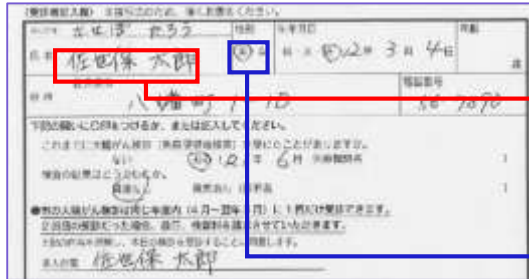
指向性のあるマイクにより、雑音を除去してクリアな音声に👍  
好評貸出中です！

4

## 02 AI-OCR(手書き文字の自動文字起こしAI)



手書きの文書等(紙)



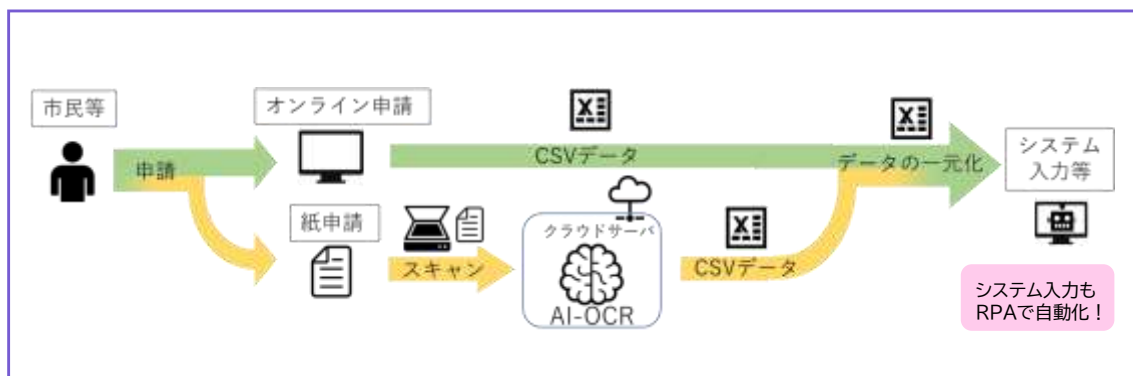
活字・手書き文字に対応👍



☑や○囲み等の選択肢に対応👍

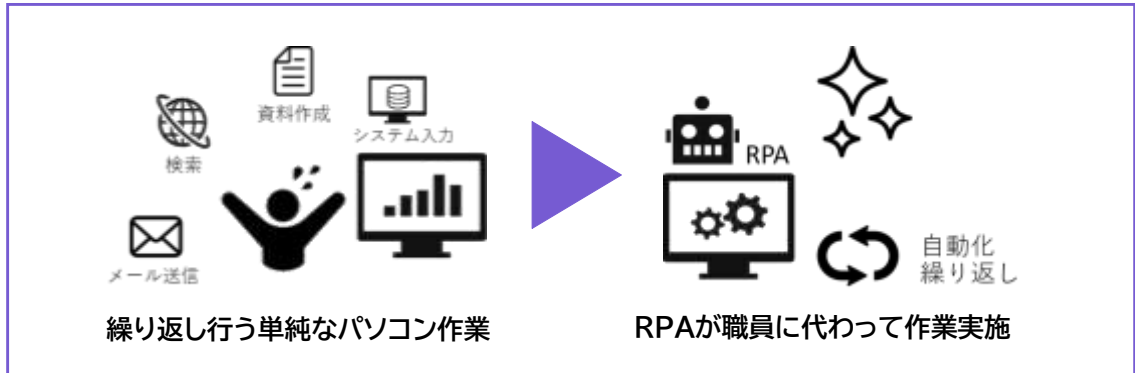


## 02 オンライン申請と組み合わせた運用イメージ



紙とオンライン、どちらの申請にも対応できる👍  
AI-OCRをご活用ください!

### 03 RPA (Robotic Process Automation)



令和4年度は38業務で導入され、3,530時間の業務効率化

【R2 → 2,389時間(20業務) R3 → 5,267時間(32業務)】

### 03 (事例)子育て世帯臨時特別給付金【AI-OCR+RPA+オンライン申請】

課題	利用者の利便性等向上を図るためにオンライン申請を導入するにあたり、紙での申請と合わせて効率的に事務を行う必要がある。また、対象者を確定するために税情報を確認する必要があるため、突合するための情報を準備し、ツールでのチェックを可能とする必要がある。
改善内容	オンライン申請・紙申請どちらもデータ化を行い、システム検索を自動化により必要な情報を補うことにより、給付対象者確定に向けた税額のチェックが容易にできるようデータを整える。
改善しなかつた 場合の対応	<p>①申請書の受付 ②申請者一覧作成 (キーボード入力) ③対象者システム検索 ④税額チェック ⑤給付対象者確定</p>
業務改善後	<p>①オンライン申請データを抽出 ②申請者一覧作成 (コピペ) ③対象者システム検索 ④税額チェック ⑤給付対象者確定</p> <p>①申請書をPDF化しAI-OCRで読み込む</p>

